

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター

執筆担当：斎藤登美夫

◆◆◆ No.0782 ◆◆◆

24/03/28

【 日銀、17年ぶりに利上げを実施したけれど… 】

周知のように、19日に開催された金融政策決定会合で、日銀は「金融政策の修正」を決定した。17年ぶりの出来事だが、この件について一部から疑問の声が挙がっている。その代表的な意見は、元財務官僚だった高橋洋一氏によるもので、自身のユーチューブ・チャンネルにおいて「小学生レベルの間違い」ーと酷評。さらに「完全にタイミングを間違えた」とも指摘していた。今回の当レポートでは、日銀利上げの背景と今後の見通しについて以下でレポートする。

◎利上げは果たして誰のため!? 追加利上げに疑問符も

今回決定した「日銀の利上げ」が正しいのか否かを解説する以前の話として、まず今回の日銀会合はかなり異様な内容だったと言ってよい。

何故なら、4日に共同通信が「政府、物価の上昇傾向を受け『デフレ脱却』を表明する検討に入った」ーと報じたことをキッカケに、7日には時事通信が「18-19日に開催される日銀金融政策決定会合で、一部出席者がマイナス金利政策の解除が妥当だと意見表明する見通し」、ブルームバーグも「一部の政府関係者、日銀による3-4月のマイナス金利解除を容認姿勢」と報道。さらに、ロイターや日経新聞なども追隨する格好となっていた。つまり、会合前に「日銀の早期金融修正不可避」ムード一色になっていただけでなく、「月内3月にもマイナス金利解除」といった見方で、ガッチリとしたコンセンサスが出来ていた感すら否めない。

周知のように、米国など欧米諸国においては、会合前1週間程度は中銀関係者が金融政策を中心とした発言を控える「ブラックアウト」と言われる期間が通常設けられている。記者会見や講演など発言機会イベントへの参加が見送られるだけでなく、マスコミ関係者などとの接触も原則シャットアウトされることはよく知られていることだと思う。

よって筆者は、当初前述した4日の共同通信報道は基本的に観測気球。つまり信憑性はそれほど高くなく、世論や関係者の反応を探るための意図的な情報流布でないかと考えていたのだが、その後の追隨情報などをみると、どうもそうではなさそう。日銀関係者から情報のリークがあった可能性を否定できず、仮にそうだとすればかなりの大問題と言えよう。ちなみに、こちらについても、先の高橋洋一氏は「黒田日銀時代にはあり得ない『情報リーク』があった」と指摘したうえで、「一部金融業界への利益誘導があったといわざるを得ない」と糾弾していた。

そして、事前に「情報リーク」があった可能性の高い日銀決定会合において、事実上の利上げが決定されたわけだが、もっと不可解なのは「利上げに踏み切った理由がよくわからない」ことになる。

高橋洋一氏は発表された公式資料をもとに、「政策変更した理由として物価安定2%が見込める状況になったからと指摘しているが、物価安定2%を継続的に維持できるってことになったら、いままでの政策がよかったということになる。金融政策を変更しちゃいけないって、全部そこに尽きてしまう」ーとし、「小学生レベルの間違い」だとバツサリ切り捨てているが、筆者もまったくの同感だ。物価がたとえば4-5%といった明らかに高めの数字で数ヵ月推移するとか、今後急速な伸びが見込まれるといった理由ではないなか、何故焦って今回利上げに踏み切ったのだろうか。高橋氏のいうように、何らかの意図があったと勘繰りたくもなってしまう。

さらにいえば、日銀の利上げと政府のスタンスに若干の齟齬がうかがえることも気に掛かる。実際、日銀による利上げを実施した後に岸田首相は会見で「緩和的な金融環境が維持されることになったことは適切であると考えている」とコメント。また、自民党の木原幹事長代理は「緩和的な金融環境が続くことは重要」、林官房長官も「日本経済はデフレ脱却に至っていない」と発言していた。

これからすると、いわゆる政府主導あるいは政府の意向を汲んで、「利上げが実施された」わけではないようにも思ってしまう。果たしてどこを向いての利上げなのか甚だ疑問だ。よくいえば、誰の意見にも左右されず「完全に独自の判断」で実施したということになるのだが…。

いずれにしても、実施された「3月利上げ」に、一部からとは言え疑問符が様々取り沙汰されるなか、果た

して日銀は今後追加利上げに踏み切れるのだろうか。

ちなみに、日銀が利上げを行った翌々日の 21 日、日経新聞は実に 8 段抜きという紙面を大々的に使い「利上げ『10 月』『7 月』観測浮上」ーと非常に強気の見通しを報じていた。確かにさらなる物価高が進行すれば、その可能性も否定はできない。しかし、それでも筆者は先で指摘したように「物価の伸びが 4-5% といった明らかに高めの数字で数カ月推移する」ーといったような展開でもたどらない限り、追加の利上げをしてはいけないと思っているのだが果たして如何に。加えて、今回は日銀独自の「利上げ」という判断を「黙認」した格好の政府も、いま一段の追加利上げにゴーサインを出すことが出来るのか、政府サイドの対応にも是非とも注目しておきたい。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter